

千曲川

Chikuma River

長野県

千曲川は長野県から新潟県へ流れて日本海に注ぐ一級水系信濃川の上流区間です。

『千曲川柳霞みて、春浅く水流れたり、たゞひとり岩をめぐりて、
この岸に愁(うれひ)を繋(つな)ぐ』 (島崎藤村の「千曲川旅情の歌」より)

この歌にみられるように、かつての千曲川は多様な流れの中に砂礫河原が広がり、河川生物にとっても良好な生息空間でした。



高水敷のハリエンジュ(外来種)の繁茂

しかし、近年、砂利採取等によって河床が低下し、高水敷の相対的な陸化(乾燥化)が進行するとともに、河原特有の植物は減少しました。また、ハリエンジュやアレチウリなど外来種の侵入も顕著になっています。

河川管理している千曲川河川事務所では、千曲川中流部の川づくりの目標を以下のように定めています。

これに従って、まず千曲市粟佐において、平成18



流下能力を確保するとともに、砂礫河原やヨシ、ヤナギなどの水際植生などが形成され、これが、その後維持される環境の創出を目指す。



この環境の創出により、河道の樹林化による流下阻害を防ぐとともに、河道内における生物の生息、生育環境の保全を図る。

